

## キーボードの拭き取り試験

鶴見大学歯学部口腔内科学講座  
教授 里村 一人

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、院内感染対策の重要性がより増している。以前より、ヒトからヒトへの経路を原因とする院内感染と比較して、物品を介した経路に関しては対策が難しいことが指摘されている。特に新型コロナウイルスはプラスチック表面で約3日間生存するとされており、感染伝播の経路としてコンピューターキーボードやタブレット等の医療周辺機器についてもより慎重な対策が求められている。

キーボード面がフラットな感染症対策用防水型キーボードの消毒薬による清拭効果について、従来のキーボードの清拭効果と比較した。

検討にはATPふき取り検査（A3法）を用いた。A3法は、アデノシン三リン酸（ATP）、アデノシン二リン酸（ADP）、アデニル酸（AMP）を測定することにより細菌による汚染だけでなく、唾液や血液等による汚染も検出可能である。

### 【方法】

対象：外来診療時に使用するキーボード

使用機器：ルミテスターSmart（キッコーマンバイオケミファ株式会社）、ルシパック

計測項目：ATP、ADP、AMP

計測キー：使用頻度を考慮してA、E、K、S、I、M、Q、F12を選択（従来品キーボードは上面および側面）

計測時期：始業前、終業後、終業後清拭後

### 【結果】

